

米軍C V－2 2 オスプレイの航空自衛隊浜松基地
への予防着陸について

令和7年10月2日付広資料第114号及び同月3日付広資料第117号でお知らせしたこのことについて、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、下記のとおり文書要請を行いましたので、お知らせします。

記

1 要請日

令和7年10月3日（金）

2 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
北関東防衛局長
横田防衛事務所長

3 要請内容

別紙のとおり

航空自衛隊浜松基地における横田基地所属ＣＶ－２２オスプレイの予防着陸について（要請）

令和７年10月２日、防衛省北関東防衛局から、横田基地所属のＣＶ－２２オスプレイ１機が、飛行中に警告灯が点灯したため、航空自衛隊浜松基地へ12時8分に予防着陸したとの情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。また、基地周辺住民にとっては、オスプレイの安全性や運用への懸念が十分に解消されていない状況にある。

当協議会からは、令和７年７月に発生した秋田県大館能代空港及び岩手県いわて花巻空港における横田基地所属ＣＶ－２２オスプレイの予防着陸についても、原因究明及び再発防止の徹底等について要請しており、立て続けにこのような事態が発生したことは、遺憾である。

貴職においては、このような状況を十分認識され、再発防止と安全確保に努めるよう、次のとおり要請する。（※）

- 1 今回の警告灯点灯の原因究明を行い再発防止の徹底を図ること。
- 2 所属機の点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。
- 4 ７月18日及び７月24日に発生した予防着陸の原因等に関する情報についても関係自治体に速やかに提供すること。

※ 国に対しては、「貴職においては、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うよう要請する。」と要請

令和７年 10 月 3 日

在日米軍横田基地第 374 空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 殿

北関東防衛局長 池田 真人 殿

横田防衛事務所長 佐々木 輝男 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

| | | | |
|-----|--------|-----|-----|
| 会 長 | 東京都知事 | 小 池 | 百合子 |
| 副会長 | 昭島市長 | 臼井 | 伸介 |
| | 立川市長 | 酒井 | 大史 |
| | 福生市長 | 加藤 | 育男 |
| | 武蔵村山市長 | 山崎 | 泰大 |
| | 羽村市長 | 橋本 | 弘山 |
| | 瑞穂町長 | 山崎 | 栄 |